

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		京都産業大学		設置者名	学校法人 京都産業大学				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業 者数	免許状 取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
経済学部	経済学科	570人	中一種免(社会)	平成2年度	644人	10人	10人	2人	
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			9人		
			高一種免(公民)	平成2年度			5人		
			高一種免(商業)	平成2年度			0人		
経営学部	経営学科	270人	中一種免(社会)	平成2年度	458人	6人	3人	0人	
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			3人		
			高一種免(公民)	平成2年度			4人		
			高一種免(商業)	平成2年度			2人		
	経営学部	ソーシャル・マネジメント学科	170人	中一種免(社会)	平成21年度	/	/	/	/
				高一種免(地理歴史)	平成21年度			/	
				高一種免(公民)	平成21年度			/	
				高一種免(商業)	平成21年度			/	
経営学部	会計ファイナンス学科	170人	中一種免(社会)	平成21年度	/	/	/	/	
			高一種免(公民)	平成21年度			/		
			高一種免(商業)	平成21年度			/		
			中一種免(社会)	平成21年度			/		
法学部	法律学科	440人	中一種免(社会)	平成2年度	670人	16人	15人	4人	
			高一種免(地理歴史)	平成2年度			11人		
			高一種免(公民)	平成2年度			7人		
	法学部	法政策学科	170人	中一種免(社会)	平成22年度	/	/	/	/
				高一種免(地理歴史)	平成22年度			/	
				高一種免(公民)	平成22年度			/	
外国語学部	英米語学科	100人	中一種免(英語)	平成2年度	104人	11人	10人	3人	
			高一種免(英語)	平成2年度			11人		
	ドイツ語学科	50人	中一種免(ドイツ語)	平成12年度	42人	1人	1人	0人	
			高一種免(ドイツ語)	平成12年度			1人		
	フランス語学科	50人	中一種免(フランス語)	平成12年度	45人	1人	1人	0人	
			高一種免(フランス語)	平成12年度			1人		
	中国語学科	50人	中一種免(中国語)	平成12年度	63人	0人	0人	0人	
			高一種免(中国語)	平成12年度			0人		
文化学部	国際文化学科	200人	中一種免(英語)	平成13年度	248人	12人	10人	2人	
			高一種免(英語)	平成13年度			11人		
理学部	数理科学科	45人	中一種免(数学)	平成2年度	57人	22人	21人	13人	
			高一種免(数学)	平成2年度			22人		
			高一種免(情報)	平成14年度			1人		
	理学部	物理科学科	45人	中一種免(数学)	平成2年度	46人	6人	3人	1人
				中一種免(理科)	平成2年度			4人	
				高一種免(数学)	平成2年度			3人	
			高一種免(理科)	平成2年度			5人		

コンピュータ理 工学部	コンピュータサイエンス学科	45人	高一種免(情報)	平成20年度				
	ネットワークメディア学科	45人	高一種免(情報)	平成20年度				
	インテリジェントシステム学科	45人	高一種免(情報)	平成20年度				
総合生命科学部	生命システム学科	45人	中一種免(理科)	平成22年度				
			高一種免(理科)	平成22年度				
	生命資源環境学科	35人	中一種免(理科)	平成22年度				
			高一種免(理科)	平成22年度				
	動物生命医科学科	35人	中一種免(理科)	平成22年度				
高一種免(理科)			平成22年度					
入学定員合計		2,580人		合計	2,377人	85人	174人	25人

大学名		京都産業大学(大学院)		設置者名		学校法人 京都産業大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)				
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業 者数	免許状 取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
経済学研究科	経済学専攻	10人	中専免(社会)	平成2年度	3人	0人	0人	0人	
			高専免(地理歴史)	平成6年度			0人		
			高専免(公民)	平成6年度			0人		
理学研究科	数学専攻	5人	中専免(数学)	平成2年度	3人	2人	2人	1人	
			高専免(数学)	平成2年度			2人		
	物理学専攻	5人	中専免(理科)	平成2年度	3人	0人	0人	0人	
			高専免(理科)	平成2年度			0人		
法学研究科	法律学専攻	10人	中専免(社会)	平成2年度	9人	0人	0人	0人	
			高専免(地理歴史)	平成6年度			0人		
			高専免(公民)	平成6年度			0人		
外国語学研究科	英米語学専攻	5人	中専免(英語)	平成17年度	2人	1人	1人	1人	
			高専免(英語)	平成17年度			1人		
	中国語学専攻	3人	中専免(中国語)	平成17年度	0人	0人	0人	0人	
			高専免(中国語)	平成17年度			0人		
工学研究科	生物工学専攻	8人	中専免(理科)	平成17年度	6人	0人	0人	0人	
			高専免(理科)	平成17年度			0人		
マネジメント研究科	マネジメント専攻	15人	高専免(商業)	平成14年度	12人	0人	0人	0人	
先端情報学研究科	先端情報学専攻	20人	高専免(情報)	平成23年度					
入学定員合計		81人	合計		38人	3人	6人	2人	
大学名		京都産業大学(大学院)(通信課程)		設置者名		学校法人 京都産業大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)				
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業 者数	免許状 取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
経済学研究科	経済学専攻	10人	中専免(社会)	平成19年度	10人	0人	0人	0人	
			高専免(公民)	平成19年度			0人		
入学定員合計		10人	合計		10人	0人	0人	0人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成23年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成23年12月20日（火）

実地視察大学：京都産業大学

実地視察委員：大坪治彦委員、高旗浩志委員、八尾坂修委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

### <状況>

- ・大学では8学部19学科、大学院では通学課程で7研究科9専攻、通信課程で1研究科1専攻で教員養成を行っている。

### <講評>

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしているが、教職課程が全学的に認識されておらず、教員養成を意識した学位プログラムとなっていない。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

### <状況>

- ・建学の精神を「高い人格をもち、人倫の道をふみはずすことなく、社会的義務を立派に果たし得る人をつくることであり、その職域が国内であろうと海外であろうと、その如何を問わず、全世界の人々から尊敬される日本人として、全人類の平和と幸福のために寄与する精神をもった人間を育成すること」と定め、かかる建学の精神と教員に対する社会的要請を融合する形で、次代を担う子どもたちの育成に寄与できる教員の養成を目標としている。

### <講評>

- ・卒業者数に比して教員免許取得者数及び就職者数が少なく、教職を志す学生の教職指導等についての大学の関心が相対的に低いと指摘せざるを得ない。教員養成を担う大学として、教職課程に関する全学的組織、教育課程、教員組織、教職指導体制等のより一層の充実に努めること。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

### <講評>

- ・授業の内容が不明確なシラバスが散見されるため、シラバス全体の見直しを図ること。
- ・教職に関する科目について、教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項」が含まれていない科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うようにすること。

## ■ 教育実習の取組状況

### <状況>

- ・大学独自で連携している協力校、附属学校その他、京都市立校とも連携して実習校を確保している。
- ・教育実習の履修登録に関しては「予備登録」後、ガイダンスを行い意思を確認し、その後「本登録」とすることで、教育実習に派遣する学生の質の保証を図っている。
- ・事後指導では「教育実習反省会・模擬授業」と称する取組を行っており、実習前の3年生にも積極的に参加を促し、4年生の模擬授業を参観し、意見交換を行う体制を作っている。

### <講評>

- ・京都市教育委員会との連携協力が図られており、大学として十分な対応が見られる。今後も協力体制を維持するよう努めてほしい。

## ■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

### <状況>

- ・京都市教育委員会をはじめとした連携協定を締結している教育委員会を通して、学校ボランティアに学生を送り出している。

## ■ 教職指導及びその指導体制の状況

### <状況>

- ・「教職課程講座センター運営委員会」を中心に履修面談や教員採用試験対策としての模擬面接、その他個々の状況に応じた履修指導を行っている。

### <講評>

- ・教職課程に関連した冊子の内容が充実しており評価できる。
- ・各学科が教員養成を担っているという意識が薄いように見受けられたが、それぞれの学科に教職課程を置いている以上、教職を志す学生が、教員として最低限必要な知識技能を養成段階で確実に身に付けることができるよう、教職課程講座センターのみならず、学科においても、教職指導の充実を図ることができるような体制とすること。

## ■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

### <状況>

- ・「教育課程講座センター」を置き、センターの運営委員を中心として教職課程における教育内外の連絡調整等を行っている。

### <講評>

- ・教育課程講座センターを中心とした取組は見られるが、教員養成に関する意識が大学全体に浸透していないように見受けられる。
- ・教職課程講座センターが教員養成に係る全学的な組織として機能するよう、例えばセンターに専任教員を配置したり、学校現場経験のある教員を有効に活用したりするなど、その機能の強化を図ること。

## ■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

### <講評>

- ・図書館における図書の配列が分かりづらく、学生にとって利用しやすい環境とは言えない。
- ・特別支援教育が、昨今の学校現場の大きな課題となっているにも関わらず、特別支援教育に関連した図書が少なく、大学として教員養成を行うにあたって、特別支援教育をどのように位置付けているのかが明確でない。